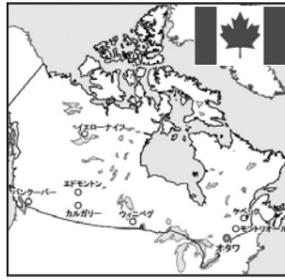


## カナダ Canada

【日程】平成20年10月24日（金）  
～31日（金）

【派遣団員数】市内中学生12人  
【訪問都市】バンクーバー、バーノンほか

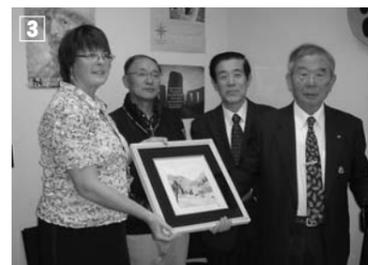


### 「気持ちを言葉で伝えることの大切さ」

佐藤 元晴さん（佐沼中2年）



「You're welcome」…「どういたしまして」わたしはカナダでの研修で、何回この言葉を耳にしたことでしょうか。わたしが参加したカナダ研修では、主にバンクーバーとバーノンで研修しました。バンクーバーでは、登米市に縁のある『及川甚三郎』さんの『及川島』などを見学し、移民の皆さんの苦勞と功績を勉強しました。夜には外出し、実際に店で買い物をするという体験もしました。最初は緊張しましたが、生の英語にも慣れ、スムーズに買い物ことができました。バーノンでは、カラマルカ・セカンダリー・スクール、日本でいう中高一貫校を訪問し、生徒の皆さんと一緒に英語の授業やカボチャの収穫などを体験しました。わたしのホストファミリーはとても明るく、すぐ打ち解けることができました。わたしは、バーノンでのホームステイを通して「Thank you（ありがとう）」と「You're welcome（どういたしまして）」をきちんと伝えることの大切さを学びました。これからの生活にカナダで学んだことを生かし、感謝の気持ちを忘れずにいたいと思います。



- 1]バーノン市を訪れ市長さんを表敬訪問
- 2]ハロウィーン祭でのカボチャのカービング
- 3]カラマルカ・セカンダリー・スクールに記念品を贈呈

### 「オーストラリアの素晴らしい8日間」

菅原 栄理佳さん（南方中2年）



オーストラリアで過ごした8日間は、わたしにとって忘れられない思い出になりました。メリバラでのホームステイや学校訪問、シドニー観光を通して、学ぶことがたくさんありました。日本で生活する8日間とは比べものにならない、素晴らしい体験でした。ホームステイではホストファミリーとのコミュニケーションが不安でしたが、とても優しく温かい歓迎を受け、お別れするときは本当に名残惜しかったです。英語を話す機会にも恵まれ、とてもいい勉強になりました。学校訪問では、国際交流について理解を深め、日本の文化や生活環境、学習の仕方の違いについても知ることができました。シドニーでは、ボンダイビーチやワイルドライフパーク、ブルーマウンテン国立公園などを見学し、動物と触れ合ったり海や山など自然の雄大さに感動したり、思い出をしっかりと心に焼き付けて帰ってきました。今回の貴重な体験を、これからの学校生活に生かしていきたいと思います。今後も、語学学習に力を入れていきたいと強く思った研修でもありました。

## オーストラリア Australia

【日程】平成20年11月26日（水）  
～12月3日（水）

【派遣団員数】市内中学生12人  
【訪問都市】メリバラ、ブリスベン、シドニーほか



- 1]オールドリッジ・ハイスクールの対面式では英語で自己紹介
- 2]オールドリッジ・ハイスクール校長先生から記念品
- 3]クラフトコテージでアボリジナルアートを体験



▲オールドリッジ・ハイスクールを訪問【オーストラリア】



▲フレザー河畔の『及甚記念碑』前で【カナダ】

## 各国の思い出を胸いっぱい詰め込んで 感動の海外体験記

市では、「青少年海外派遣事業」を通して、諸外国の人たちとの相互理解と交流を深め、次代を担う国際感覚豊かな青少年を育成することを目指しています。平成20年度は、ドイツ、カナダ、オーストラリア、アメリカの4カ国へ市内の中高生44人を派遣し、現地の生徒との交流やホームステイなどさまざまな体験をし、多くのことを学んできました。※アメリカについては、3月下旬に派遣となります。※21年度の募集は、広報とめ5月号でお知らせします。【問い合わせ】教育委員会生涯学習課 ☎0220(34)2698



▲ベルリンのシンボル「ブランデンブルグ門」前で【ドイツ】

### 「ドイツで感じたこと、学んだこと」

星 尚之さん（新田中2年）



「まだ帰りたくない。もっといたい」これは、ドイツ研修最終日に僕がずっと言っていた言葉でした。「もっといたい」という気持ちは当然でした。見るものすべてが新鮮で、見学場所に行くたびに感激していたからです。中でも印象に残っているのは、ベルリンの壁です。この壁がドイツを二つに分けていたのだと知ると、とても興味がわいてきました。また、ザクセンハウゼン強制収容所を見学したときは、犠牲となったユダヤ人のことを思うと心が痛みました。そのほかにも、研修では人々の温かさなども感じました。店に行ったときや学校訪問のときなど、ドイツの人にはとても優しく接してもらい、わたしがドイツ語であいさつし返事してくれたときには、うれしさでいっぱいになりました。ドイツに研修に行って学んだことは、たくさんありました。環境問題に対する取り組みのことなど、いろいろと考えさせられる点もありました。今回は、登米市の海外派遣でドイツに行きましたが、今度は自分でお金をためて自分の力でドイツに行きたいと思っています。

## ドイツ Germany

【日程】平成20年7月31日（木）  
～8月6日（水）

【派遣団員数】市内中学生11人  
【訪問都市】ベルリン、キルヒハイムポールンデンほか



- 1]ギムナジウム・ヴァイアーホフ学校を訪問
- 2]ギムナジウム・ヴァイアーホフ学校の日本語クラブの皆さんと
- 3]ザクセンハウゼン強制収容所跡地を見学（右の建物が人体実験室跡地）